

所管からの行政報告

1. 社会教育課

①「少年の主張滝川地区大会」を開催しました。

6月5日（水）、滝川市民交流プラザにおいて「少年の主張滝川地区大会」を開催しました。市内の3中学校から選出された生徒が、日常生活の中で体験したことや日頃感じていることなどを発表しました。

最優秀賞には『OUR OPINONS』と題して発表した、開西中学校 3年 本間 聖来さんが選ばれました。

②「たきかわこどもミュージックフェスタ」を開催しました。

6月15日（土）、滝川市民交流プラザにおいて「たきかわこどもミュージックフェスタ」を開催しました。

市内の幼稚園、小中高等学校の器楽部・吹奏楽部等の9団体が出演し、日頃の活動成果を発表しました。

③「沖縄交歓児童派遣事業」が行われました。

滝川青年会議所の主催により、6月28日（月）から7月2日（火）までの期間で「第49回滝川児童名護派遣」が行われました。

本事業は昭和49年から行われており、今年で49回目を迎えましたが、滝川市とは違う気候、風土を肌で感じ、名護市の子ども達と交流を深め、お互いの文化を学びました。

④アウトリーチ事業「トラベリングバンド『ひのき屋』と音楽を楽しもう！！」を開催しました。

7月10日（水）、アーティストの迫力ある素晴らしい文化芸術活動を、子どもたちに身近な空間で体験してもらうため、西小学校でアウトリーチ事業を開催し、子どもたちに音楽の素晴らしさを体感していただきました。

●参加者数：212人

⑤空知管内社会教育委員研究協議会を開催しました。

7月10日（水）、そらぶちキッズキャンプ及び農村環境改善センターにて空知管内社会教育委員研究協議会を開催しました。

本研究協議会を通じて、空知管内の社会教育委員が生涯学習社会の実現に向けて、社会教育の実践的な方策を探るとともに、社会教育委員の果たすべき役割等について研鑽を深めました。

●参加者数：40人

2. 図書館

①出張おはなし会を実施しました。

4月3日～7月30日に出張おはなし会を計9回実施し、計275名が参加しました。

介護老人保健施設シーザース（52名）、ニチイケアセンター滝川（2回・計37名）、ひまわりの絆プロジェクト（29名）、ともだちの家（2回・50名）、たんぼぼの家（17名）、カーサシーザース（90名）

②図書館視察や学校図書館訪問などを受け入れました。

4月12日～7月30日に図書館視察や学校図書館訪問、図書館訪問を計26回、518名を受け入れました。

【図書館視察】（計13回・78名）

ロングメドー高校（19名）、モンゴル訪問団（8名）、國學院大學北海道短期大学司書課程学生（3回・9名）、元市立小樽図書館長（1名）、栃木市総合政策課長（1名）、北見市立中央図書館司書（2名）、名寄市議会総務常任委員会（9名）、岩見沢市立図書館（5名）、市立富良野図書館（10名）、北海道武蔵女子短期大学図書館学ゼミ（7名）、東京都北区公明党議員団（7名）

【学校図書館訪問】（計6回・278名）

東小学校（2年生73名）、滝川第二小学校（2年生45名）、江陵中学校（1年生5名）、滝川第三小学校（3回・1年生55名、2年生50名、3年生50名）

【図書館訪問】（計7回・162名）

たんぼぼの家（15名）、赤平小学校（1年生25名）、一の坂保育所（2回・4歳児23名、5歳児26名）、浦臼町立浦臼小学校（2年生12名）、北竜町立真竜小学校（3～4年生21名）、雨竜高等養護学校（10名）

③図書館ボランティア「ブックフレンド」研修会を実施しました。

4月13日に図書館ボランティア「ブックフレンド」の新規加入者向けに研修会を実施しました。基本的なボランティアの活動概要の研修のあと、専門部門に分かれて、修理やブッカーかけ、読み聞かせの仕方などについて学びました。（図書館ボランティアは7月末現在で延べ63名が活動中）

④滝川市・米国マサチューセッツ州ロングメドー町姉妹都市提携締結記念 滝川市立図書館子どもの読書週間事業『絵本でワクワク COOKING～アメリカと日本のおやつをつくろう！！～』を開催しました。

4月14日に「滝川市・米国マサチューセッツ州ロングメドー町姉妹都市提携締結記念

滝川市立図書館子どもの読書週間事業『絵本でワクワク COOKING～アメリカと日本のおやつをつくろう！！～』を滝川西高校で開催しました。昨秋にロングメドー町と姉妹都市提携を締結したことから、それを記念し、ロングメドー高校の生徒と教諭が滝川市の高校生と交流を図るため、滝川を訪問することとなりました。国際交流員と図書館職員で、英語と日本語交互に読む絵本の読み聞かせの後、訪問引率の先生や西高の生徒にご協力をいただき、滝川の親子と一緒に絵本に出て来たおやつを作りました。(66名)

⑤図書館学級文庫や調べ学習用図書の貸出を実施しました。

4月17日～7月22日に図書館学級文庫や調べ学習用図書の貸出を計30回、5,586冊を貸し出し、学校での読書や調べ学習に活用されました。

【図書館学級文庫】(計9回・4,212冊貸出)

滝川第一小学校(357冊)、滝川第二小学校(535冊)、滝川第三小学校(669冊)、西小学校(471冊)、江部乙小学校(279冊)、東小学校(783冊)、江陵中学校(337冊)、明苑中学校(580冊)、開西中学校(201冊)

【調べ学習用図書】(計21回・1,374冊貸出)

滝川第二小学校(6回317冊)、滝川第三小学校(8回729冊)、西小学校(2回52冊)、東小学校(5回276冊)

⑥授業支援や学校図書館運営支援、連絡会議を実施しました。

4月17日～5月23日に、学校からのお申し出に対応して授業支援や学校図書館運営支援を計4回、240名に行いました。また、5月10日に小・中学校の担当教諭にご出席いただき第1回連絡会議を実施しました。令和5年度事業報告の承認と、令和6年度事業計画の説明を行うとともに、各校の読書推進の状況や悩みを情報交換しました。

【授業支援】(計4回・213名)

滝川第三小学校(2回・1～2年生102名読み聞かせ、3～4年生93名読み聞かせ、ブックトーク)、江部乙小学校(2回・1年生13名読み聞かせ、2年生5名読み聞かせ)

【学校図書館運営支援】(計2回・27名)

開西中学校(1名学校図書館データベース化打合せ)、明苑中学校(図書委員会26名読み聞かせ指導、POP指導)

【連絡会議】

第1回連絡会議(参加者13名)

⑦古本もってけ祭 in ありす祭を開催しました。

6月16日に國學院大學北海道短期大学部と連携し「古本もってけ祭 in ありす祭」を開催しました。小説や実用書、雑誌、児童書など、約5,000冊を体育館に並べ、市民へ提供しました。

当日はありす祭のと合わせての開催のため、参加者が679人にとぎわいました。

⑧どこでもドクショ。～つながる本棚～を実施しました。

6月19日に「どこでもドクショ。～つながる本棚～」を実施しました。図書館まで足を運べない市民のために、地域の施設等で本にふれることができる読書環境を整備する取組で、高齢者施設3カ所、計90冊を提供しました。高齢者施設の読み聞かせボランティアのみなさんが、本のほかに、お手製のメッセージカードとしおりやお手玉をプレゼントをし、入居されたみなさまに大変喜んでいただきました。

【シニア編】ニチケアセンターせせらぎ、カーサシーザース、あおぞら（3カ所90冊）

⑨特別整理期間のため、臨時休館しました。

6月20日～27日は特別整理期間のため、臨時休館をいたしました。期間中は書庫内の本の移動や除籍作業、滝川市に関するチラシのデータ化とファイリング整理、マンガコーナーやビジネス支援コーナー、議会図書室コーナーなどの見出し付けとジャンル分け、日頃開館をしているとできない作業を中心に行いました。

⑩滝川市地図写真アーカイブ「たきかわ思い出めぐり」を作成しました。

昔の市内地図と昭和から平成初期に撮影された市内の建物や風景の写真を公開する滝川市地図写真アーカイブ「たきかわ思い出めぐり」を6月28日で完了し77枚の写真を、図書館内の閲覧用パソコンで公開しました。

⑪講師を派遣しました。

6月21日～7月17日に講師を派遣しました。（3回、計93名）
ファミリーサポートセンター保育講習会（6名）、令和6年度社会教育主事講習（A）（45名）、調べ学習シンポジウム（42名）

⑫「北海道コカ・コーラボトリング株式会社と滝川市立図書館の図書寄贈（たきかわっ子未来としょかん文庫協定）」を締結しました。

7月12日に「北海道コカ・コーラボトリング株式会社と滝川市立図書館の図書寄贈（たきかわっ子未来としょかん文庫協定）」を締結しました。北海道コカ・コーラボトリング株式会社の社会貢献活動の一環で、図書館ロビーに設置された自動販売機の売り上げ金の一部を、子ども達の豊かな心を育む本の購入に充て、図書館へご寄贈いただく予定です。

⑬冊子「調べる学習のススメ～これでキミも調べる学習博士だ！！～」、チラシ「夏休みの攻略本」を配布しました。

7月16日に、児童へ冊子「調べる学習のススメ～これでキミも調べる学習博士だ！！～」、チラシ「夏休みの攻略本～調べもの・工作編～」滝川市立図書館×TSUTAYA 滝川店連携企画夏休みの攻略本～読書感想文編・小学生版～、生徒へ「滝川市立図書館×TSUTAYA 滝川店連携企画夏休みの攻略本～読書感想文編・中学生版～」を配布しました。冊子については、日頃の調べ学習での活用を促すため、小学校教員にも併せて配布しました。また、読書感想文編については、TSUTAYA

滝川店と連携し、書店員と図書館スタッフそれぞれのおすすめ本をチラシに掲載しました。店舗や図書館には特設コーナーを設けました。

⑭「たきかわ DE 調べる学習体験講座」を実施した。(計 4 回・91 名)

7 月 29 日～8 月 2 日にたきかわ DE 調べる学習体験講座を開催しました。対象は小学生とその保護者です。今回はコースを一新し、陸上自衛隊滝川駐屯地と連携した陸上自衛隊コース、企画課と連携した国際交流コース、滝川警察署と連携した警察コース、北海道新聞社と連携したメディアコースの 4 コースを開催いたしました。駐屯地や警察署の施設の見学や乗車体験などのほか、国際交流員の母国の文化や遊びを体験を通して学んだり、北海道新聞社本社から講師をお招きし、新聞の回し読みをし、気になる記事をグループでまとめて発表するなど、各コース貴重な体験をした後、資料を使って調べてまとめ、調べ学習の作品を作りました。

【コース】陸上自衛隊コース(42 名)、国際交流コース(16 名)、警察コース(33 名)、メディアコース(17 名)

※メディアコースのみ期間外ですが、4 コース分まとめて報告します。

3. 美術自然史館・こども科学館・郷土館

【美術自然史館】

企画展「北辰の森・物語展」を開催しました。

日本画家・岩橋英遠の提唱に呼応して屯田兵が植えた江部乙の桜並木の再現を目指し、丸加高原に桜並木の造成に努め、2006 年からは現在地の旧江部乙中学校学習園を「北辰の森」として、桜のトンネルづくりに取り組んできた岩橋ふるさと北辰振興会(現 NPO 法人)。

エゾヤマザクラの種の採取や育苗、植樹祭など、その活動の歩みを写真パネル等で紹介するとともに、岩橋英遠が江部乙を描いた作品を展示しました。

●会 期 令和 6 年 4 月 20 日～5 月 6 日 ●来場者 1, 924 人

企画展「追悼 鮫島淳一郎 植物へのまなざし展」を開催しました。

令和 6 年 1 月 9 日に 97 歳で逝去した植物学者・鮫島淳一郎氏を偲び、本館収蔵の鮫島淳一郎作品を紹介しました。植物の生態を科学的な観点から精緻に描き写し、知的好奇心を満たす対象として植物学の視点・美術の視点の両分野において魅力ある植物画約 110 点を春夏秋冬の季節ごとに展示しました。

●会 期 令和 6 年 5 月 18 日～6 月 9 日 ●来場者 1, 029 人